

1 事業名等(Plan 1)

事業名	国際交流事業											
所属名	企画管理部 秘書国際課 秘書国際グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	5	地域	基本 施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる	施策	4	ふれあいの推進
予算科目	2	1	5	国際交流	費	21525	国際交流事務費	事業				
	2	1	5	国際交流	費	21528	外国青年国際交流員招致	事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市国際交流団体等運営補助金交付要綱											
事業の実施主体	○ 市 市以外→ 飛騨高山国際協会											
事業の実施方法	○ 直営 指定管理 業務委託 ○ 団体等補助 その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民	受益者数	人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	市民の国際理解の啓発を図り、幅広い知識をもった国際社会に対応できる人材を育成する。		
概要	事業の実施手法、手順	飛騨高山国際協会が実施する異文化ふれあい講座の実施により、国際理解の推進を図る。		
概要	事業始期・終期	始期: H17 年度から	終期: 年度まで	設定なし ○
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	総合計画計画額(当初)	7,800	7,800	10,174	10,000	10,000	
	総合計画計画額(計画額)	8,300	8,300	10,174	10,000	10,000	
	事業費	9,516	10,035	10,174			
	(計画・予算・見込・決算額)	9,520	7,296				
	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
	繰入	予算額					
決算・見込							
一般財源	予算額	9,516	10,035	10,174			
	決算・見込	9,520	7,296				
H17国勢調査 96,231人 32,174世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %	-	-			
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	99	76			
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	296	227			
コスト	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
コスト	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標		指標名	異文化ふれあい講座受講者数	資料・出席算出式	受講者数 /	単位	人	
	活動指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向	
	活動指標	目標値	—	—	440	444	448	452	457	↑
	活動指標	実績値	347	418						
活動指標	達成率	—	—	0	0	0	0	0		
成果指標	成果指標	活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標		指標名	国際協会の実施した事業に参加した人数	資料・出席算出式	参加者数 /	単位	人	
	成果指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	成果の方向	
	成果指標	目標値	—	—	900	909	918	927	936	↑
	成果指標	実績値	847	887						
成果指標	達成率	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	外国人観光客が年々増加するとともに、外国籍住民との共生も重要な課題となっており、多くの市民が異文化と接し、国際化に対応できる人材を育成することが必要である。	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 B					
	②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	減少	維持	1	増加		項目	②コスト面	
(判定理由)	事業費は、維持している					③成果面	拡大	維持	減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	拡大	1	維持		減少		拡大	維持	減少
(判定理由)	国際協会の開催する事業への参加者が増えていることにより、国際理解の推進につながる。					コスト・成果ポジション	B		
						第2水準			

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→	I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→	II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→	III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→	IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→	V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	参加者を増加させるために事業内容等を検討
------------------------------	----------------------

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 ■ 改善・継続 ■ 終期設定 ■ 休止 ■ 廃止 ■ 完了 ■
基本的な事業内容については継続する。	
活動の方針	次年度の実施方針 基本的な事業内容の継続

一次評価 主管課	II
判断の理由	外国人観光客の増加や、外国籍住民との共生が重要な課題となっているため継続の必要がある

総合評価	中 中 III
判断の理由等	「II」以上の水準に向けた改善が必要 異文化ふれあい講座の外国語講座修了生が習得した語学力を活かすための機会の創出について検討する必要がある。 また、飛騨高山国際協会は、海外の友好都市との交流を進める上で非常に重要な役割を果たしており、今後とも連携を密にし実施していく必要があるが、現状では事務負担を全て行政が担っており、協会会員との役割分担について見直す必要がある。